

東大和市環境学習リーダー連絡会

(団体紹介):平成 15 年、東京都による「環境学習リーダー養成講習」会の修了生により発足し、子供、成人対象に、市内の公園、河川などの自然観察、地球温暖化による環境問題などについて体験学習、啓発活動など。

(活動内容);子供、大人対象に、公園などでの自然観察、空堀川での生き物・水質・植物(外来種など)調査。地球温暖化防止・災害への準備・食品ロス・ごみの分別・マイクロプラごみなどに関する啓発。空堀川の源流散策。リース・輪かざり作り講座。

(環境に関する取組);「環境市民の集い」への参加。「環境通信」の発行。環境課と市民との話し合い。東大和公園内の樹木調査、空堀川の外来種調査。公民館での環境講座の企画。環境自主講座の開催。

身近な環境について考えよう

詳しくは次ページ参照

プラごみを減らそう SDGs目標=②④⑧⑨⑪⑫⑬⑭
大量に廃棄されるプラスチックゴミは、海洋に集りマイクロプラスチックとなって、半永久的に自然に還らず海洋に蓄積され、鳥や海の生き物などに誤飲される。プラスチックに添加されている化学物質の毒性が懸念をを広げている。海の生物を口にして私たちにとってもプラごみを減らすのは、緊急の課題である。



(大阪産業創造館 HP より)

食品ロスを減らそう SDGs目標=②⑫⑭⑮
食料の3分の1が廃棄されている。そのうち22%はまだ食べられるのに捨てられているいわゆる食品ロスだ。一方で世界では、全人口の9%、約7億人が飢餓状態にある。また日本の食料自給率は38%でおおくは輸入に依存している。私たちの日常生活での行動で食品ロスは減らせる。

多様性を感じよう

SDGs目標=③⑧⑬⑮
市内には市立狭山緑地のほかに都立東大和公園があります。守られてきた赤松林でハルゼミの声を聴き、美しい雑木林のある「雑木林博物館」への来訪を！！



都立東大和公園
(ちよこバス ニッ池公園下車)

問合せ先:東大和市環境学習リーダー連絡会 田口浩子
042-561-8214

身近な環境について考えよう

くらしのなかでのプラスチックゴミ問題＝プラごみを減らそう＝

2007年の改定容器包装リサイクル法の施行、容器包装プラスチックの回収、そして、ゴミ袋、レジ袋の有料化などの削減に取り組んできた。しかし、カメの鼻に刺さったストローや、魚の胃の中に見られたプラごみなどを目にしたとき、すでに大量のプラごみが、海を汚染していた。

私たちの食卓や、次世代に与える影響、自然に戻らないプラごみなど、あらたな海洋環境汚染の脅威を感じた。

プラスチックは、加工が容易、軽量、安価など、取り扱い易いが、自然界に存在しない素材で、何百年たっても、自然には戻らない素材であるということを認識しておくことは非常に大切です。

＝プラごみの削減のために＝

- ①詰め替え商品の選択
- ②生分解可能なプラスチックの活用
- ③レジ袋使用の削減
- ④容器包装プラスチックの回収及びリサイクルの推進
- ⑤マイクロビーズ配合商品の使用中止（洗顔料、歯磨き粉などの研磨剤）
- ⑥ペットボトル・プラスチックなどのポイ捨て禁止

食品ロスを減らそう

食料のおおよそ3分の1が廃棄されています。日本の食品ロス量年間612万トンのうち、事業系は328万トンで、家庭系からは284万トンです。食品ロス量のおよそ半分は家庭から発生しています。チェックリストを参考に日頃から食品ロスを減らす努力をしよう。

◆チェックリスト

- ・買い物前に冷蔵庫をチェックしている
- ・賞味期限・消費期限をこまめにチェックしている
- ・「食べきり」クッキングをしている
- ・外食では食べきれぬ量を注文している
- ・食べ残しはせず、全部食べきるようにしている

◎賞味期限とは、おいしく食べることができる期限です。期限を過ぎたからといって、すぐに食べられなくなるわけではありません。煮たり焼いたり、十分加熱するなど調理方法を工夫してみましょう。

生物多様性を感じる—都立東大和公園—

昭和40年代後半に団地開発が計画された際、多くの市民が東大和市と共にこの里山の自然を守りたいと東京都に働きかけ都立最初の丘陵地公園として開園

正門を入りすぐにときどき池。ときどきしか水をたたえないのでこの名がある。近辺にエノキ、風の通る空間とクヌギ、そんな環境があるだけでこの場所では国蝶のオオムラサキが飛翔する。(7月中旬～8月上旬) オオムラサキの幼虫はエノキ葉を食べ成長し、蝶になるとクヌギの樹液を好む。一昔前にはオオムラサキは、この周辺では、多く見られたようだが最近では見られるとラッキー。秋から冬にはこのエノキの実が好物のイカル、オナガ、シメ、ツグミ、ジョウビタキ、カワラヒワもみられる。



最近の活動状況(2014年度～2021年度)

年度	開催日	項目	内容
2014年	5月21日	空堀川観察会	
	6月1日	環境市民の集い	紙類の分別
	6月27日	環境こんわ会(第11回)	東大和環境基本計画フォロー
	11月20日	東大和公園樹木講座	
	2月4日	環境こんわ会(第12回)	ごみ有料化のその後
		環境学習プログラム改訂版を作成・関係先に配布	
2015年	5月21日	東大和公園樹木観察会	春の観察会
	5月25日	空堀川観察会	外来植物
	6月7日	環境市民の集い	ごみの分別・資源回収(店頭回収調査)
	6月11日	環境こんわ会(第13回)	東大和の環境(平成25年度版)
	6月13・14日	中央公民館祭り	ごみの分別・資源回収
	10月29日	空堀川観察会	ひっつき虫・外来種・秋の野草
	12月2日	リース・輪飾りづくり	自然の素材を使って
	2月3日	環境こんわ会(第14回)	東大和の環境(平成26年度版)
	2月18日	東大和公園樹木観察会	冬芽観察会
2016年	6月5日	環境市民の集い	再生可能エネルギー
	10月7日	空堀川観察会	外来植物
	12月9日	リース・輪飾りづくり	自然の素材を使って
	12月21日	環境こんわ会(第15回)	東大和の環境(平成27年度版)
2017年	3月23日	東大和公園樹木観察会	春の観察会
	6月4日	環境市民の集い	食品ロス
	6月17・18日	中央公民館祭り	食品ロス
	9月27日	環境こんわ会(16回)	第二次環境基本計画
	11月20日	空堀川観察会	外来植物
	12月14日	リース・輪飾りづくり	自然の素材を使って
2018年	4月24日	東大和公園樹木観察会	春の観察会
	5月21日	空堀川観察会	外来植物調査
	6月3日	環境市民の集い	暮らしの中の省エネ
	10月13日	川まつり	空堀川観察会
	11月1日	東大和公園樹木観察会	秋の観察会
2019年	4月18日	東大和公園樹木観察会	春の観察会
	5月9日	空堀川観察会	外来植物
	6月2日	環境市民の集い	マイクロプラスチックによる海洋汚染
	12月13日	リース・輪飾りづくり	自然の素材を使って
2020年	12月10日	リース・輪飾りづくり	自然の素材を使って
2021年	5月20日～	環境市民の集い(オンライン開催)	身近な環境について考えよう
	12月15日	リース・輪飾りづくり	自然の素材を使って

●予定=2022年2月24日(木) 東大和公園冬鳥観察会 狭山公民館集合 午前9時30分～

自然素材を使って リース・輪かざりづくり

自然素材を使ったリース作りと稲わらを使った輪飾り作りを毎年12月に行ってきました。2015年から始めて今年が6回目になります。



東大和公園樹木観察会

場所 都立東大和公園

「雑木林博物館」という素敵な名前を元顧問の廣井敏男先生がつけてくださいました。私たちは春秋冬に、下村先生を講師として観察会を実施しております。

今回の画像は1本の樹木が、このように花が咲き、そして実となり、さらに翌年のために冬芽を準備するという観点からのもの 19 種を用意しました。季節を変えて同じ場所を歩くと思わぬ発見があります。森林浴を兼ねながら東大和公園を歩いてみてください。

次回はこの場所で冬鳥の観察会を実施いたします。

日時 2022年2月24日(木)

(詳細は2月1日の市報掲載をご覧ください。)



アオハダ(モチノキ科)



雄花



雌花



冬芽



果実



ウワミズザクラ(バラ科)



花



花



冬芽



実



ウメモドキ(モチノキ科)



雄花



雌花



冬芽



実

オトコヨウゾメ(レンプクソウ科)



ガマズミ(レンプクソウ科)



カマツカ(バラ科)



カラスザンショウ(ミカン科)





サワフタギ(ハイノキ科)



花



実



葉



冬芽



幹



実



ツクバネウツギ(スイカズラ科)



花



花



実



枝・中空



冬芽



ムラサキシキブ(シソ科)



花



花



実



冬芽



冬芽



リョウブ(リョウブ科)



花



実



冬芽



幹



ツリバナ(ニシキギ科)



花



実



冬芽



コナラ(ブナ科)



雌花



雄花



冬芽



幹



実



クヌギ(ブナ科)



雄花



冬芽



実



幹



マユミ(ニシキギ科)



花



冬芽



実



実



ムクロジ(ムクロジ科)



冬芽



実



葉



ヤマザクラ(バラ科)



冬芽



蜜腺



花



実



クサギ(シソ科)

花



蕾



実



冬芽



マルバアオダモ(モクセイ科)



冬芽



冬芽開葉



葉



花



実

空堀川ウォッチング(観察会)

空堀川河川敷の植物調査(外来種・在来種)

◆河川敷きの植物調査(高木橋周辺)◆

河川敷の植物の成長は、人の背ほどにもなるほど早く、いたるところに繁茂する。“川のクリーン アップ”前とか安全面などから、年2回程、業者による草刈りが部分的だが行われている。

セイバンモロコシ、カナムグラ、セイタカアワダチソウ、ナガミヒナゲシなどの外来種も多いが、ツルヨシ、ヨモギ、イヌビエ、ツククサ、カラスのエンドウ、ギシギシ、スイバなどの在来種も結構多い。

一見、きれいな花の様に見えるが、外来種は植物のみならず、他の生物においても、生態系にも悪影響を及ぼすという認識を持ち、積極的に増やさないことは大切です。

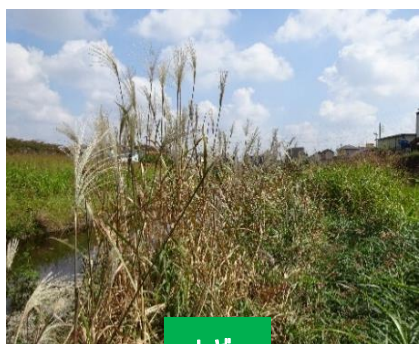
(植生調査結果=最後のページに添付)



=在来種



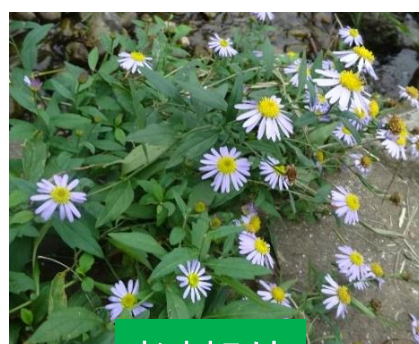
=外来種



オギ



ガマ



カントウヨメナ



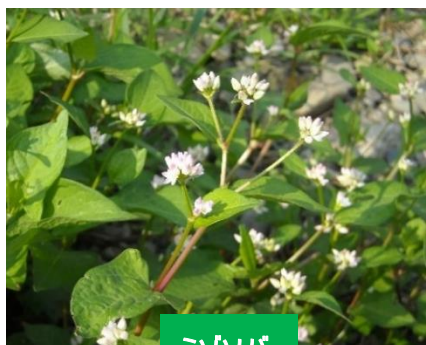
ツルヨシ



ジュズタマ



フトイ



ミソバ



ヨモギ



ヤナギタデ

No. 18

空堀川ウォッチング

～高木橋、奈良橋川合流地点あたりから、河川敷を下流に向かって 歩きながら、外来種や在来種などを見てみよう。

日時: 平成31年7月7(日) (小雨決行・大雨中止)

10:00～12:00頃まで

集合場所: 上砂一の橋右岸(四小の斜め前、樹木広場) 階段の近く)

服装: 長靴(または水にぬれてもいい靴)、長ズボン、帽子

持ち物: タオル、筆記用具、飲み物



申込・問い合わせ: 田口(電話またはファックス) 042-561-8214

企画・運営: 東大和市環境学習リーダー連絡会



アメリカセンダングサ



オオカワジシャ



オオオナモミ



オオキンケイギク



オオブタクサ



オランダガラシ(クレソン)



カラシナ(セイヨウカラシナ)



シナダレスズメガヤ



セイタカアワダチソウ



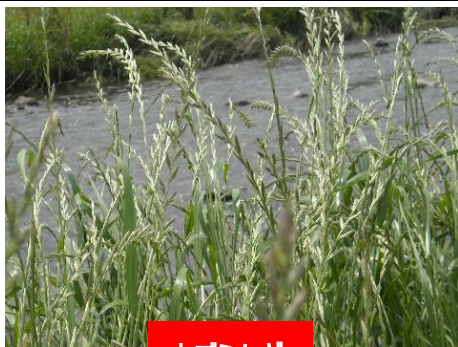
セイバンモロコシ



ナガバギシギシ



ハルシャギク



ネズミムギ



ヘラオオバコ



メリケンガヤツリ

空堀川ウォッチング植生調査結果 (●印はその日の観察会で観察できたもの)

調査日＝2018年5月～2019年5月 場所＝上砂一の橋～高木橋 調査者＝下村・田口・長峰・野澤

我が国の生態系等に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト(環境省H27-3-26)

◎緊急対策外来種 ○重点対策外来種 △その他の総合対策外来種 (※特定外来種 *旧要注意外来植物)

NO	植物名	外来種 区分	18- 5/21	18- 10/13	19- 5/9	19- 10/12	NO	植物名	外来種 区分	18- 5/21	18- 10/13	19- 5/9	19- 10/12
1	アシカキ(東京北多摩 絶滅危惧種)		●	●			71	ツルヨシ		●	●	●	
2	アメリカアサガオ			●			72	トウダイグサ		●			
3	アメリカイヌホウズキ						73	ドクダミ		●			
4	アメリカセンダングサ*	△		●			74	ナガバギシギシ	△	●	●	●	
5	アメリカフウロ		●		●		75	ナガミヒナゲシ*		●		●	
6	アレチギシギシ		●		●		76	ナンバンカラムシ		●	●	●	
7	イチゴツナギ				●		77	ネズミムギ*			●	●	
8	イヌガラシ			●			78	ノビル			●	●	
9	イヌタデ			●			79	ハキダメギク			●	●	
10	イヌビエ			●			80	ハタケニラ		●			
11	イソノギシギシ*	△	●				81	ハナダイコン(オオアラセイトウ)				●	
12	エノコログサ		●				82	ハルジオン		●		●	
13	オオイヌタデ			●			83	ハルシャギク*	△	●	●	●	
14	オオイヌノフグリ				●		84	ハルノノゲシ		●			
15	オオオナモミ	△		●			85	ヒメジョオン*	△	●	●	●	
16	オオカワジヤ※	◎	●		●		86	ヒメムカシヨモギ			●	●	
17	オオキンケイギク※	◎	●				87	フトイ		●	●	●	
18	オオクサキビ			●			88	ヘビイチゴ			●	●	
19	オオスズメノカタビラ		●				89	ヘラオオバコ*		●	●	●	
20	オオバコ		●	●	●		90	ホウキギク			●	●	
21	オオブタクサ*	○	●	●	●		91	マグワ		●		●	
22	オギ		●	●	●		92	マメアサガオ			●		
23	オッタチカタバミ		●	●	●		93	マルバアサガオ			●		
24	オニタビラコ		●	●	●		94	マルバヤナギ				●	
25	オヒシバ			●			95	ミゾソバ			●	●	
26	オヤブヅラミ		●				96	ムラサキツメクサ		●			
27	オランダガラシ(クレソン)*	○	●		●		97	ムラサキツメクサ				●	
28	カキネガラシ		●		●		98	ムラサキツクサ		●			
29	カスマグサ				●		99	メキシコマンネングサ		●			
30	カタバミ				●		100	メドハギ		●			
31	カナムグラ			●			101	メヒシバ			●		
32	ガマ			●			102	メリケンガヤツリ*	○	●	●		
33	カラシナ(セイヨウカラシナ)*	△			●		103	メリケンカルカヤ*	△				
34	カラスノエンドウ				●		104	ヤグルマソウ				●	
35	カラスムギ*		●		●		105	ヤブガラシ		●			
36	カラムシ				●		106	ヤブカンゾウ		●		●	
37	カントウヨメナ			●			107	ユウゲショウ		●		●	
38	キツネアザミ				●		108	ユキノシタ			●	●	
39	キツネノロソク			●			109	ヨシ(アシ)		●			
40	キバナコスモス			●			110	ヨメナ		●	●	●	
41	キンエノコロ			●			111	ヨモギ		●	●	●	
42	クサギ			●			112						
43	クサノオウ				●		113						
44	クサフジ				●		114						
45	クサヨシ		●				115						
46	ケイヌビエ			●			116						
47	コセンダングサ*			●			117						
48	コハコベ			●			118						
49	コヒルガオ		●				119						
50	コマツヨイグサ*	○					120						
51	コムラサキ			●			121						
52	コメツブツメクサ				●		122						
53	サンカウイ				●		123						
54	シゲタレスズメガヤ*	○					124						
55	シマスズメノヒエ	△		●			125						
56	ジュズダマ			●			126						
57	シロツメクサ		●		●		127						
58	シロバナセンダングサ		●				128						
59	スイバ				●		129						
60	ススキ				●		130						
61	スズメノカタビラ				●		131						
62	セイタカアワダチソウ*	○	●	●	●		132						
63	セイバンモロコシ*	△	●	●			133						
64	セイヨウタンポポ*	○	●	●	●		134						
65	ゼニアオイ			●			135						
66	チカラシバ			●			136						
67	ツタバウンラン		●				137						
68	ツメクサ		●		●		138						
69	ツククサ		●	●			139						
70	ツルマンネングサ		●	●			140						